

会 議 録

会 議 名	令和 5 年度第 2 回野田市障がい者基本計画推進協議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	<p>1 報 告</p> <p>(1) 障害福祉サービス事業者等に対するアンケート調査及びヒアリングの結果について（報告）（公開）</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 第 4 次野田市障がい者基本計画及び第 7 期野田市障がい福祉計画・第 3 期野田市障がい児福祉計画の概要について（公開）</p>
日 時	令和 5 年 10 月 6 日（金） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 35 分まで
場 所	中央公民館 1 階 講堂
出席者氏名	<p>会 長 小林 幸男</p> <p>副会長 高峰 啓三</p> <p>委 員 上木 昭 小倉 明美 加藤 満子</p> <p>熊沢 英也 田代かさね 幡野喜志子</p> <p>増田 雅樹 松岡 巖 小暮 正男</p> <p>岩木 博之 香山 啓 猪越 裕</p> <p>新谷真紀子 星野 静江</p> <p>事務局</p> <p>今村 繁（副市長）</p> <p>小林 智彦（福祉部長）</p> <p>岡田 勇貴（障がい者支援課長）</p> <p>山崎 優（障がい者支援課障がい者福祉係長）</p> <p>榎本由香梨（障がい者支援課相談支援係長）</p> <p>林 晋也（障がい者支援課障がい者福祉係主査）</p> <p>山崎 淳美（障がい者支援課障がい者福祉係主任主事）</p> <p>内田 遥香（障がい者支援課障がい者福祉係主事）</p> <p>中村 正則（企画調整課長）</p> <p>山本 茂（総務部参事兼行政管理課長）</p> <p>須賀 良平（市民生活課長）</p> <p>森下 元博（市民生活部次長兼防災安全課長）</p> <p>田中 徳寿（商工労政課長）</p>

	<p>池澤 孝之（みどりと水のまちづくり課長） 茂木 大介（スポーツ推進課長） 中山 高裕（都市部参事兼都市整備課長） 海老原純一（生活支援課長） 山口 忠司（高齢者支援課長） 宮崎 英雄（人権・男女共同参画推進課長） 内田 一也（児童家庭課長補佐） 武田 真弓（子ども保育課長補佐） 峯崎 光春（保健センター長） 秋鹿弥由紀（保健センター長補佐兼子どもの発達相談室長） 田村 秀一（選挙管理委員会事務局長補佐） 戸塚 進（生涯学習部次長兼教育総務課長） 安藤 剛行（生涯学習課長） 間々田英示（指導課長）</p>
欠席委員氏名	<p>委員 清本健二郎 谷口 勲 高野 紗生 角田 敏雄</p>
傍聴者	<p>3名</p>
<p>障がい者支援課 障がい者福祉係長</p> <p>小林会長</p> <p>加藤委員</p>	<p>令和5年10月6日 午後1時30分、開会を宣言 欠席の委員を報告した。 会議の成立を報告した。 会議録作成のため録音機を使用することを報告する とともに、発言について説明した。 審議の公開について報告した。 人事異動に伴い就任した委員を紹介した。 新たに就任した委員から自己紹介</p> <p><手話学習></p> <p>報告1 障害福祉サービス事業者等に対するアンケート調査及びヒアリングの結果について 事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。</p> <p>大変な作業に感謝申し上げます。 事業所の職員の皆様が一生懸命に回答してくださったことから、素案の後でも構わないので、その後の進</p>

障がい者支援課長	<p>捗や結果報告について準備が進んでいるかどうか伺う。</p> <p>今回の報告では、事業所へのヒアリング結果やそれに基づく課題の整理をお示した。今後の計画策定では、これらの課題を元に、新たな計画にどのような施策を反映させるかが一つのテーマとなる。また、計画に反映させた施策の進捗状況などについては、本協議会に報告し、委員の皆様には評価や検証をしていただくこととなる。</p>
小林会長	<p>ほかに質問を問うた。</p> <p>質問等なし。</p> <p>議題1 第4次野田市障がい者基本計画及び第7期野田市障がい福祉計画・第3期野田市障がい児福祉計画の概要について</p> <p>事務局から説明を受けた。</p> <p>質問等を委員に問うた。</p>
上木委員	<p>資料5 ページの基本理念が、「個性を尊重し支え合う共生社会の構築し」となっており、文章が通じていない。</p>
障がい者支援課長	<p>御指摘の基本理念の部分について、文章が通じるよう修正する。</p>
新谷委員	<p>ライフサポートファイルの活用を計画に盛り込んだことに感謝申し上げます。本日、私からお伝えしたいことが2点ある。</p> <p>まず第一に、野田市において一貫した特別支援教育の体制作りをお願いしたい。なぜなら、先生や学校が変わるたびに子供の支援内容や方法が変わると、子供たちが混乱してしまい、不安定になってしまうからである。その結果、発達障がいのある子供たちは本来できることさえできなくなり、学校生活での困りごとが増えることになる。この困りごとは、先生たちにとっても負担となる。</p>

<p>指導課長</p>	<p>第二に、先生方が発達障がいに対する深い理解と正しい知識を得るために、野田市や教育委員会が一貫した学びの場を設けていただきたい。なぜなら、正しい知識が適切な支援につながり、それが子供たちの学校生活を円滑にし、先生たちの負担を減らすからである。</p> <p>先生方や教育委員会の皆様がお忙しいことは承知しているが、子供たちと先生方のために、上記の点を御検討いただき、実行に移していただけることを心から願っている。</p> <p>御意見いただき感謝申し上げます。野田市教育委員会では、毎年度、野田市特別支援教育基本方針を策定し、各学校に周知している。この方針は、千葉県特別支援教育推進基本計画などを参考にし、障がいのある子供たちへの学びと支援体制の充実、ICTの活用による教育の質向上、教員の専門性向上など教員が特別支援教育を進めていく上での柱として計画している。</p> <p>さらに、更に深い理解のもとで、教員が子供たちに良い支援ができるように教員の学びの場として、年数回、特別支援教育の研修会などを開催している。</p> <p>今回頂いた御意見を踏まえ、より多くの教職員に特別支援教育を理解させ、子供たちの支援に当たるように努めていきたいと考えている。</p>
<p>新谷委員</p>	<p>回答に感謝する。</p> <p>先生方の異動や、小学校から中学校への進学時に、先生によってやり方が異なる場面を多く見てきた。それによって、子供たち、先生方双方が困ってしまう場面も今まで見てきた。</p> <p>野田市としての一貫した支援教育において、どうしても先生方に、より深い知識を得ていただきたいという思いが強い。</p> <p>この先、子供たちが進級したり、学校が変わったりした際、どの先生に当たっても同じ支援を受けられるということにつながる活動なのか。</p>
<p>指導課長</p>	<p>委員の御指摘のように、現在、教員の若年層が増えている状況もあり、どの教員も同じような支援、対応</p>

	<p>ができていくかという点と不十分な点があるかと考えている。</p> <p>御意見を頂いたことから、どの子供たちにも同じ支援ができるよう、研究を進めていながら教育委員会として教員指導に当たっていきたいと考えている。</p>
新谷委員	<p>切に願っている。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>新谷委員の御意見や思いについて、相談員をしている立場から一言付け加えさせていただきたいと思う。</p> <p>本当に新谷委員と同じような御家庭の方で、思い悩み、困っている方々が多くいる。それが、なかなか改善されないのは一体なぜだろうといつも疑問に思いながら相談に当たることが多い。</p> <p>是非よろしくお願いいたします。</p>
熊澤委員	<p>9ページの施策に関して、9月23日は国際手話言語デーというのが始まった。手話言語を皆様にも知ってもらうためにブルーライトでライトアップする。松戸市、流山市、習志野市、千葉市、市川市などでは、そういう取組が始まっているが、野田市としての考えを伺いたい。</p>
障がい者支援課長	<p>今回、国際手話言語デーの期間に、横断幕のようなものを障がい者支援課で手作りし、青いLEDを周りにライトアップさせ、市民の方に広く周知する取組を実施した。</p> <p>庁舎をライトアップするといった取組も一つ検討しなければならないところではあるが、予算のこともあるため、そこまで大仕掛けなことができるのかということもある。障がい者週間など、障がいの関係のことを周知する機会が多々あるので、様々な手法を使いながら、市民に周知活動をやっていきたいと考えている。ライトアップについても、機材が用意できれば実施できると考えているので、検討していきたいと考えている。</p>

福祉部長	<p>補足する。障がいに対する様々な施策として広報があるが、その一つでライトアップは、当然あると思っている。まず、市で考えているのが、できることをすぐやっていく。例えば、障がい者支援課長から話があった横断幕、これについては手話言語だけではなくて、4月1日の自閉症やメンタルヘルスといった方面も継続してやっている。その中で、ライトアップについては、予算の関係ということではなく、飽くまでも必要な部分についてできることからやっていき、市民の方がより理解できるような施策を進めていきたいと思っている。</p>
田代委員	<p>今回、医療的ケア児者に対する記載が増えていることをとても心強く思う。感謝する。</p> <p>9ページの「6 保健医療の推進」の「施策2 保健医療の充実」の野田市医療的ケアを必要とする在宅重度身体障がい者一時入院支援事業について質問する。市内医療機関の包括ケア病棟におけるレスパイト目的の入院制度を活用した事業が追加されている。これは今後、この医療機関の包括ケア病棟でショートステイや日中一時支援などの福祉サービスを拡充していくという理解で間違いないか。</p>
障がい者支援課 障がい者福祉係長	<p>こちらの制度については、福祉サービスの日中一時支援や短期入所を医療機関が行うということではなく、レスパイト目的の入院という制度が元々あるので、それを使った場合にかかる自己負担額の助成と地域包括ケア病棟の枠を確保していただく内容の事業になっている。</p>
猪越委員	<p>基本原則を受けて、基本方針に進むということだが、8ページの教育分野は特に細かく書かれていなかったが、基本原則1の二つ目の黒丸に障がい者の地域生活への移行を促進するための基盤整備を進めると記載されていると思う。学校での地域生活ということになると、お住まいの近くの小中学校や幼稚園、保育園となると思うが、そういったところを地域生活と考える</p>

障がい者支援課長	<p>と、小中学校では、居住地校交流を更に推進するという ことによいか。最終的には自分で選択する機会の確保 ということで記載しているが、まずは、そういった 情報や経験のインプットがなければ、アウトプット、 つまりこの選択というところにはつながっていか ないかなと思うので、そういったことによろしいか 確認したい。</p> <p>基本原則1の障がい者の地域生活への移行を促進 するための基盤整備については、障がい者の場合、例 えば、入院や施設に入所している方が、一般家庭と同 じような性質を持つグループホームへ入居し、地域へ 移行していくということになる。共生社会の実現のた めに、飽くまでも地域に根ざした生活を送るというと ころが一つ大きな目標になっているため、そのような 趣旨で、今回、基本原則に記載している。御指摘のと おり、それ以外の部分についても、地域生活への移行 として捉えられると思う。計画の中で、どこまで教育 視点での地域生活への移行を示せるかが、これから草 案を作成する際のポイントになると考えている。</p>
猪越委員	<p>御説明に感謝する。是非検討していただきたいと思 う。</p>
星野委員	<p>障がいのある人に配慮したまちづくりの具体案とし て、視覚障がいの方が道路を安全に移動できるよう、 ブロックの配置や色彩を変えることを御検討いただ きたい。</p>
障がい者支援課長	<p>ユニバーサルデザインのバリアフリーの推進として 計画に位置付ける部分があるため、そういったことが 具体的にできるかどうかも含めてこれから取りまと めたいと考えている。</p> <p>具体的には、恐らく安心安全な生活環境の整備の中 に出てくる項目に該当するため、計画への反映につ いて、これから検討していきたいと考えている。</p>
福祉部長	<p>補足する。</p>

<p>小林会長</p>	<p>実際は、既にできている道路等がある中で、それを全て直すのは非常に難しいと思う。障がい者支援課長の回答のとおり、ユニバーサルデザインであるとか、千葉県福祉計画に対応方針が位置付けられていたりする。これから建設される建物や道路については、方針に沿った形とするよう、指導や意見を言いたいと思っている。</p> <p>ほかに質問を問うた。 質問等なし。 議題1について、了承としてよいか。</p> <p><異議なしの声あり></p>
<p>小林会長</p>	<p>議題1は説明のとおり了承した。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>案については、今賛成したが、野田市の地域福祉計画が障がい者基本計画の上位の位置付けと記載してあるが、私たちは地域福祉計画の中身を知る機会がない。ホームページで見るとも厳しいので、例えば、総合計画のようにダイジェスト版を配布するなど、配慮いただきたい。地域福祉計画の内容を見てから、障がい者基本計画を考えたいと思っている。</p> <p>次に、骨子についても賛成したが、前回の協議会で出た意見、例えば、選挙における投票支援カードの導入といった具体的な文言を是非、素案に取り入れていただきたい。</p> <p>最後に合同就職相談会の記載に感謝する。</p>
<p>福祉部長</p>	<p>まず地域福祉計画については、社会福祉法に基づき各自治体が策定している計画であり、大きく言うと障がい者、高齢者、生活困窮者及び自殺対策等の内容がまとまった計画となっている。ただし、現実的には、各計画は地域福祉計画に基づいて各施策を実施しているのではなく、本来必要な各施策を地域福祉計画の一つにまとめているのが現状である。今後の福祉については、どうした方が市民に対して一番分かりやすくなるのかを検討していきたいと思っている。</p>

小林会長	その他について、事務局に問うた。 事務局から説明を受けた。 午後 2 時 35 分閉会を宣言
------	--